

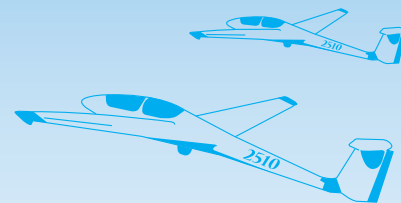
国際ロータリー第2510地区 2009～2010年度

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010

6



CONTENTS

- ガバナーレター☒……………1☒
- 2010年規定審議会報告☒……………2～4
- RI第2360地区GSE受入れ☒……………5
- 韓国3700地区・地区大会報告☒……………6
- 第4・第5グループ合同IM報告☒……………7☒
- ローター財団補助金プログラム事業「料理に使った油で車を走らせる!」☒・8
- クラブ事業紹介「地域を育み大陸をつなぐ」☒・9
- ローターアクトクラブ活動報告「フードパーティを終えて」…10
- 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます
ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます・計報☒…11☒
- 新入会員の紹介・文庫通信☒
- ローターレート☒……………12☒
- 地区カレンダー(6月)☒
- 例会日・例会時間・例会場の変更等について……………13
- 出席率・会員数☒……………14

国際ロータリー第2510地区

2009-2010年度 ガバナー 渡邊恭久

2009-2010年度 「ロータリーの未来はあなたの手の中に」
国際ロータリーテーマ ～The Future of Rotary is in Your Hands～



国際ロータリー第2510地区 2009-2010年度

【基本方針】

環境・人・子どもに目を向けよう

環境は地球人の普遍的テーマ

人は等しく生きる権利がある

子どもは未来を持っていてそれを拓く支援をしなければならない

【重点目標】

1. 小児ガンの子どもの夢や希望を与える「そらぷちキッズキャンプ」を支援しよう
2. 水の衛生確保と飢餓追放のため活動する「WCS」を支援するクラブを応援しよう
3. 会員増強のため純増を年度初めの会員数の「1名以上の会員増」を実行しよう
4. 会員は常なる活動の意識の中で「職業倫理を醸成」し職業奉仕に心がけよう



有終の美

国際ロータリー 第2510地区

2009-2010年度 ガバナー **渡 邊 恭 久**

Yasuhisa Watanabe
(滝川IRC)

2009～2010年度も、残すところ1ヶ月になりました。あっという間の、時の経過です。

年度当初に、地区の重点目標として、小児がんや難病の子供たちの日本、アジアでただ1つの「そらふちキッズキャンプ」を支援しよう。水の確保、飢餓保健、識字率の向上に取り組むWCSを支援し、これに参加するクラブを応援しよう。会員増強は、純増1を目指そう。職業倫理を醸成し、職業奉仕を実践しようと、4つの具体的項目を掲げ、皆さんに呼びかけて来ました。

ここで年度の最後の月を迎えるにあたり、その成果を確かめ、至らぬところには、その実現に向かって汗しなければならぬと思ひ、以下に整理をしてみました。

「そらふちキッズキャンプ」の支援は、ガバナー補佐の積極的な活動を得て、各クラブが様々な支援の方法で取り組みを頂き、その結果、地区内クラブの大半が参加され成果をあげています。

地区外で確認が出来ただけでも、広島、山口、石川、富山、大阪、和歌山、長野、神奈川、栃木、福島、山形などの地区ガバナーは、それぞれの地区月信で地区内会員に「ドラッグストアに置いてあるキッズキャンプ募金箱にトルドロップする輪を広げよう!」と呼びかけて下さり、あるいは仙台、群馬は寄付金をキャンプに寄せてくれたなど、成果は予想以上の反響と結果で表されております。

WCSには、今年度地区内1/3のクラブが参加、1月に実施しましたタイ・ノンカイ検証ツアーには、20名の地区内会員が参加し、現地で事業を確認し、今後に向かってこの事業を充実発展させなければならないという共感を共有するなど、情報理解促進の成果となりました。

会員増強については、年度初め2,700名のスタートが、4月末現在で2,751名であります。現時点では順調ですが、年度末に向かって、各クラブのご努力を更に頂いて会員が増加されることを願っています。

職業倫理の醸成については、会員のそれぞれにとって厳しい現代の仕事の環境の中で、ロータリアンとして4つのテストに照らし活動をされていることと確信をしておりますし、各クラブが職業奉仕を軸にした活動プログラムを組み立てているところが多いことも承知をしております。

ともあれ、4月に規定審議会も終わりロータリーの新しい時代に入って来ました。ロータリーの求めるものは変わらず、しかし時代に叶った運営の方法は変えて行かなければならない事も不易流行なのでしょう。

有終の美を目ざし、ジョン・ケニーRI会長の、その時代、その時代のロータリーの奉仕への熱い思いを実践したその成果が鎖の環となり、その強い繋がりが鎖となってロータリーの歴史を築いて来た。次のため繋がる強い環を作るために、残る1ヶ月を汗して過ごそうと、自分に言い聞かせている今日であります。「ロータリーの未来はあなたの手の手に」



2010年規定審議会報告

2010年規定審議会

代表議員 **佐藤 秀雄**

Hideo Sato
(千歳RC・PG)

「2010年規定審議会」は、2010年4月26日から4月30日まで、シカゴのマリオット・シカゴ・ダウンタウン・マグニフィセント・マイル・ホテルで開催された。日本の34地区代表議員は4月24日(土)成田空港に8時に集合し、全日本空輸と日本航空とに分乗し一路シカゴへと向かった。翌24日(土)シカゴに8時20分に到着。空港のロビーで1時間ほど遅れて到着する代表議員を待ってホテルへと向かう。シカゴはことのほか寒く、13度ぐらい。午後からは信任状提出、登録、立法案資料の受領。25日(日)午後から諸宗教合同礼拝、オリエンテーション及び開会式、その後、歓迎晩餐会。世界531地区から531人の代表議員が事前登録。しかし、アイスランドの噴火により空港でストップされている代表議員がいて、早く到着することを望む。

以下重要であると思われる制定案・決議案につき記して報告とする。

4月26日(月)(第1日目)

審議会の本番。午前8時30分(3日目からは8時開始となる)の開始であるが、10分前には着席との指示が出る。5階のBallRoomで、午前6時30分から朝食を取り会議に臨む。

午前8時30分。点鐘とともに議長の挨拶で会議が始まる。

■決議10-01「研修・リーダーシップ委員会の設置をクラブに奨励するようRI理事会に要請する件」(フランス第1670地区提案)の主動議がなされ討論に入る。国際ロータリー(RI)の決議により、RIは、クラブ・リーダーシップ・プランを推奨する常任委員会に加えて、研修・リーダーシップ委員会を設置するようクラブに奨励することを検討するものとする。

新会員も古くからの会員も含め、RI並びにロータリー財団の目標、規則、リソースに関する知識が欠如しているロータリアンが多く見受けられる。これは、クラブが徹底した定期研修を継続的に提供していないことに起因している。さらにクラブ会長などがクラブの責務を引き受ける前に、指導力を改善する機会が与えられていないロータリアンが多すぎる。デベートが延々と続き、反対意見はクラブの研修リーダーを創設したとしても、研修を受けていないものが研修リーダーとなっても、組織は立ち上がるが中身のないものではないか、或いは地区がクラブ研修リーダーを養成するためのプログラムを作成し教育した後、クラブ研修リーダーによる教育を始めるべきだなど、多彩な賛成反対意見が約1時間にわたり論議の末、採決に入り賛成289、反対216で採択。

■決議10-06「E-クラブの設立」(RI理事会、フィンランド、シンガポール、ブラジル、米国等提案)である。この案件についても相当の時間を費やした。障害者、遠隔地に居住している人々、通常の例会に出られない人達を対象としたものであるとRI理事会は説明するが、反対派はロータリーの基本理念である会員同士の生の親睦、通常例会で行われる卓話、世のため人のために汗を流して行う地域社会への奉仕活動等をE-クラブ会員はどのような方法で実施するのか。地区には一つのE-クラブの設立が最初の原案であったが、その後、幾度かの修正動議の中で2つ置く案が採択され、その後、主動議の採決に入ったが、日本の代表議員は否決に廻り、韓国、米国をはじめブラジル、ヨーロッパの地区ほとんどが賛成。賛成430、



反対85の大差でE-クラブが誕生した。

ポール・ハリスもロータリーは時代とともに変遷しなければならないといっているが、時代とともにロータリーも変革を余儀なくされているのであろうか。若者を惹きつけるにはE-クラブ(例会時間30分)を設立する以外に方法はない。外国の代表議員はE-クラブ誕生により4万人の会員の増強が期待できると豪語する。決議23-34の理念はどこに行ってしまったか。

■決議10-31「例会開催を隔週にすべき」提案。英国、日本、バングラデシュ等から、毎週開催の例会は隔週にすべきだとの提案については、毎週の例会を開催してこそ親睦を図れるのだから、当然毎週開催すべきとの主張が通り、賛成178、反対331を以って否決。午後6時05分終了。

4月27日(火)(第2日目)

■決議10-45「会員の種類の中に法人会員を追加する件」(米国、オーストラリア提案)。法人から代表者4名を届け出て、例会等に代表者が出席できないときは他の3名が交代で出席し、会員拡大を図るというものである。賛成者は、時代は変革を求めている。これからは大企業に入会を勧誘し会員の拡大を図らなければロータリーの将来はない。法人会員を認めれば欠席者がいなくなる。反対者は、ロータリアンは善良な人格を持った人間である。若し、法人会員を認めるとすれば、ポール・ハリス等が執筆したロータリーに関連する文献全部を書き換えなければならないだろう。又法人会員は職業を持っていないし専門職でもないのだからロータリーの綱領にも反する等激論の末、採決に入り、賛成182、反対333で否決。

■10-127 議長は、会員身分の終結に関する件(決議10-56)が終了したところで、突然RI理事会提案の10-127「人頭分担当金を増額する件」を主動議とした。多分議場が混乱するのを見越して早めに提案してきたものだ。まず理事会は半期1ドルで年間2ドルの増額を原案としていた。本会議が始まる前に、制定案10-127(改正案)が配られた。それは下記のようなものであった。増額分を半期50セント年間1ドルとし、2010-11年度~2013-14年度支払う。以降「理事会は、年率最高2パーセントまで人頭分担当金の増額を許可することが出来る。」という改正案である。昨年のゾーン研究会において黒田RI理事に人頭分担当金の増額は反対です、と申し入れをしてみましたので、その点少しは理解されたものと思う。しかし、以降「」内については承認できるものではなかった。デベートに入り、修正動議が出された。それは、以降「」内を削除する動議であり、これには多くの意見が出された。ある元RI会長はゲストとしての発言であるが、ロータリー審議会は株主総会ではない、理事会が一切の責任を負うのだから僅か年間最高2%の増額を、理事会を信頼し承認してはどうかとの発言があった。又、他の理事者は僅か半期50セントの増額のために職員が膨大な時間と労力を掛けて審議会の準備しなければならず、任せてもらいたい。これには多くの代表議員が反発し、一円たりとも立法機関を通さず支出することは出来ない。クラブからの貴重な人頭分担当金を理事会の恣意的判断によって増額するような行為は、理事会を信頼するしない以前の問題である、という意見が展開され、以降、「」内を削除するとして修正案は多数を以って可決された。従って、修正された増額の主動議は賛成372、反対136で採択。

考えるに多くの代表議員ではなく、多くの発言者からは半期50セント程度ではなく、2ドルでも3ドルでも運営資金が不足するのであれば増額すればよいとの意見が出された。増額凍結などの意見はほとんど聞くことはなかったし、増額凍結の提案が出来る雰囲気ではなかった。従って、本地区が提案した10-130でRI人頭分担当金の凍結は、半期1ドルから50セントに減額されたこと、且つ、理事会が自己の判断によって増額が出来なくなったこと、次回の審議会に人頭分担当金の増額凍結を案件として再度提出できること等を踏まえ、本地区の人頭分担当金凍結の決議案は撤回することとした。

■決議10-62「地区大会を隔年で開催する件」オーストラリア提案。反対論は、地区大会を隔年でやると親睦が図れない。賛成者は開催地と居住地が3千キロも離れているところもあり毎年参加することが出来ない。賛成174、反対327で否決。18時10分終了。

4月28日(水)(第3日目)

■決議10-87「青少年奉仕を4大奉仕部門に加える件」(提案者米国)。この件については、青少年はこれから時代を背負う国の宝であり、国際ロータリーもこれについては多数のプログラムを用意し実践している。反対論は、確かに青少年は重要な部門である。しかし、国際ロータリーは4大奉仕部門で理論構成されているのだから、いまさら部門を増設する必要もない。社会奉仕部門の基にしっかりと歩みを続けているのではないか。修正動議が出され、青少年ではなく新世代部門にすべしとの動議が通り、その後、主動議が採決、賛成263、反対250で新世代部門が誕生した。

■決議10-112「ロータリアンの子供を財団の補助金・奨学金とプログラムの有資格者とすることを検討するよう、管理委員会に要請する件」(カナダ提案)。

この要請案については、財団本部はイリノイ州にありイリノイ州法が適用となるため法律に抵触することはない。賛成者は、ロータリアンの子供、孫は優秀なものが多い。一般募集しても人員に不足を生じたときなどに資格を与えるべきだ。反対者は4つのテストに反する。採決に入り賛成226、反対288で否決。12時35分終了。

4月29日(木)(第4日目)

■決議10-138「RI理事に弁済された全経費及びRI理事に代わって支払われた経費をRI年次報告書に記載することを義務付ける件」(英国提案)賛成498、反対18で採択。

■決議10-139「管理委員に弁済された全経費及び管理委員に代わって支払われた経費を財団年次報告書に記載することを義務付ける件」(英国提案)賛成504、反対13で採択。

■決議10-140「RI会長指名委員会の委員数を減らす件」(デンマーク、スウェーデン、ノルウェー、インド、米国等多数提案)前回の規定審議会によって34のゾーン全員によるものと改定したが、元に戻しゾーンの奇数・偶数の17名によって選出すること改定された。賛成346、反対167で採択。

■決議10-167「地区はクラブ数30未満、ロータリアンの数1,000名未満をクラブ数33未満、ロータリアンの数1,200名未満に改定する件」(理事会提案)改定された数未満になると理事会は地区の境界を廃止・変更することが出来ることとなった。賛成202、反対193で採択。18時03分終了。

4月30日(金)(第5日目・最終日)

■決議10-191「カムリーバンクをRI元会長の文書の記録保管所とすることを検討するようRI理事会に要請する件」賛成440、反対56で採択。

■決議10-205「立法案に関する審議会の決定は、クラブの有効投票の少なくとも10%に相当するクラブが反対した場合、その効力は保留されるものとする」を5%に改定する案件。賛成285、反対214で採択。

■決議10-208「ロータリアンは3回を越えて規定審議会に代表議員として出席してはならないとする件」賛成366、反対141で採択。16時30分終了。

今回の審議会の全議案の審議が終了して振り返って見ると、この5日間相当ハードな日々だった。世界の代表議員の顔ぶれは発展途上国の議員は比較的若く、先進国といわれる国々の議員は総じて老齢化が著しい。特に日本は提案者として発言した方の一人は、提案理由を1分以上もオーバーして話していたが、議長も高齢であることを認め、ストップもかけずに話をさせ体調をいたわっていた。

この審議会を通じて、国際ロータリーはどこを指標として変革し、時代の変遷とともに共生していけばよいのか思い悩むところである。E-クラブの誕生、今回は否決された法人会員を会員の種類に加入させる件、4大奉仕部門に新世代奉仕部門を加え5大奉仕部門が誕生したこと、人頭分担金の毎回の増額等を考慮すると、ポール・ハリスが創立した国際ロータリーの基本理念は大きく変革を余儀なくされるように思える。

※「2010年規定審議会の立法案の採否と、採択された立法案の詳細について掲載しています。『ロータリージャパン』ホームページ<http://www.rotary.or.jp>をご覧ください。」



RI第2360地区GSE受入れ

地区GSE委員会

委員長 沼 館 栞

Shiori Numadate
(札幌清田RC)

今年度GSE委員会は、スウェーデンRI第2360地区との派遣交換を行ない、カトリン・アンダーソン・チームリーダー率います3名の女性と1人の男性の5名を受け入れました。RI第2360地区はスウェーデン第2の都市イエテボリを中心とした地区です。GSE派遣交換は今回が15回目となりますが、今までヨーロッパとの交換が一度もなく初めての経験でした。このGSEプログラムは、ロータリー財団の教育的プログラムの一つで、25歳から40歳までの専門職経験の浅い職業人に文化体験や職業経験を通して、国際交流の場を提供する機会であり、国際化の進む地域社会のニーズに対応できる国際人としての専門職の技術と指導力を磨くプログラムです。

チームリーダーのカトリンさんは1930年に創立されたボラスRCの会員で、2002年に会長を経験した温厚な淑女でした。団員のサラ・ストールさんは共同体のメンバーで、観光部門に所属しVarbergの町を“スウェーデンで一番の温泉街”にするべく町興しをしています。カタリーナ・ブラッドさんは事業計画策定の分野においては世界で一番大きな会社でマネージャーをしています。また2005年にワシントンDCにあるスウェーデン大使館でjunior diplomatとして勤務したこともあり、その時に日本とアメリカの友好記念の桜祭りやサクラ・プリンセスに選ばれ、その際に日本に興味を持ったとの事です。団員の中では唯一既婚のカミラ・プラス・マネスタールさんは、皆様もよくご存知のポルボ社の商品開発課長を勤め、飲酒運転防止設備導入の担当をしています。アウトドアのスポーツは何でも好きで、じっとしているのは本を読む時とワインを飲む時くらいだと仰る活動的な女性です。ただ一人の男性のデニス・ラーセンさんはNPOの学校関係の仕事で、企業精神を学生に呼び起こす啓蒙活動をしていて、夏期には大学で非常勤講師として企業講座を受け持っています。子供の頃から日本に興味があり相撲、剣道、日本料理にも興味があり伝統的な日本料理を作りたいとの事でした。

彼らは4月1日に千歳へ到着しました。今回は北広島、留萌、滝川、室蘭東、札幌東の5つのクラブにお世話いただきながら、約4週間の研修を行いました。行く先々で大歓迎を受け団員からは、滞在地での素晴らしい体験を通し日本のイメージがより良いものになったこと、このような経験は人生の中で得がたいことの一つであり沢山の方にこのGSEプログラムを味わってほしいとの言葉を頂き、報われた思いです。当委員会では約1年前より準備を進め、地区の皆様のご協力をいただき、受入れメンバーは4月30日に無事帰国の途に着きました。

GSEチーム受入に際しまして、引き受けて頂きましたガバナー補佐の皆様、お世話下さいましたホストクラブ、ホストファミリーをはじめ受入れグループのロータリークラブの皆様、コーディネーターの方々、本当にご協力ありがとうございました。心より深く感謝申し上げます。各グループでのIMにて沢山の方々にGSEプログラムについてご披露できましたことに感謝申し上げますと共に、ロータリー財団に対するご理解とご支援、並びに更なるご協力を重ねてお願い申し上げます。帰国したメンバーには、日本で得た経験を生かし地域に貢献してくれることを願いながら、GSE受入れについてのご報告とお礼といたします。





韓国3700地区・地区大会報告

地区国際奉仕委員会

委員 谷口正樹

Masaki Taniguchi
(滝川IRC)

4月22日より4月25日まで「韓国3700地区大会参加ツアー」を渡邊ガバナー夫妻、佐々木ガバナーエレクト夫妻・矢橋パストガバナーを始め26名の参加で行いました。2004年の友好地区締結以来続けられている、地区大会の相互訪問です。4月22日(木)新しく完成した新千歳空港国際線ターミナルに集合し大韓航空プサン行の直行便にて出国しました。3時間余りのフライトですが、千歳から一番近い海外旅行はプサンだと実感しました。プサン空港に到着しますと第3700地区のメンバーが横断幕で出迎えてくれました。その中に相互訪問の中心的人物、チェ氏、また昨年訪問していただいた旅行代理店のソウ氏も出迎えてくれました。赤色回転灯を付けた車を先頭にバスにてテグに移動し、早速2510地区訪問団の歓迎会を催していただきました。地区大会を翌日に控える中、宋総裁(ガバナー)を始め多くのパストガバナーそして地区大会担当のメンバーが歓迎をしてくれました。その後、会場を移し3700地区名物カラオケ大会となり韓国の皆さんと打解けることができました。

翌日、我々はテグ近くにある世界遺産「慶州」の観光に行きました。夕刻ホテルに戻り「RI会長代理晩餐会」会場のホテルインターブルゴへ移動し晩餐会に臨みました。渡邊ガバナーを始め2510地区からの参加者の紹介が宋総裁からありました。紹介後、宋総裁、RI会長代理、渡邊ガバナーの挨拶があり会食に入りました。ソプラノ歌手による歌、ピアノ演奏、弦楽器による演奏等が用意され飽きさせることのない内容でした。特に圧巻は奇跡のピアニストの演奏でした。両手に2本づつしか指がないのですが、ショパンを始めとする名曲を素晴らしい演奏で聴かせて頂き、感動しました。昨年も感じたのですが、晩餐会の欠席者が非常に多く、今年も1/3程度の空席がありました。その後、我々は二次会へと移動し、3700地区会員と談笑させていただきました。翌日「地区大会」の会場は大きなホールでの開催でした。煌びやかな照明、レーザー光線の中、スポットライトの照明を浴びて我々ゲストが入場です。宋総裁の点鐘で開会し、地区大会実行委員長挨拶、ガバナー挨拶、RI会長代理挨拶、テグ市長挨拶、渡邊ガバナー挨拶と続き地区内クラブの紹介がありました。この地区大会の式典は昨年もそうでしたが、円卓で、上には果物、菓子、ソフトドリンクが用意され、大変リラックスした中で行われます。中にはビール、焼酎、手料理などをもちこんで式典に挑んでいるクラブもありました。会場にて昼食をいただき宋総裁をはじめ多くの会員のホスピタリティに感謝し、テグを韓国新幹線にて離れソウルへ向かいました。ソウル観光をし、翌朝帰国いたしました。





I M 報告

第4・第5グループ合同IM報告

第2510地区 第5グループ

ガバナー補佐 江口 洸

Hiroshi Eguchi
(札幌清田RC)

第4・第5グループ合同IMを4月24日(土曜日)、札幌プリンスホテル国際パミールに於いて開催致しました。

第4グループ386名、第5グループ357名、合計743名の会員に対し483名の会員の方に登録頂き、盛会裡に終了することが出来ました。熱心なロータリアンの皆様及び各クラブ会長、幹事の方々のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

尚、渡邊恭久ガバナーは韓国RI第3700地区の地区大会参加の為欠席でしたが、心強い励ましを頂いております。

第4・第5グループ合同IMのテーマ「ひびきあう大地」の基、阿部哲夫IM実行委員長の開会の挨拶に始まり、来賓の紹介、岩城秀晴パストガバナーのお言葉、三澤龍子IMホスト札幌清田RC会長の歓迎の挨拶が行われました。

基調講演には札幌市出身で音楽家として著名な桐朋学園大学音楽学部教授、木村俊充氏より「共存共鳴」と題し、ご見識溢れるお話しを頂き大なる感銘を受けました。

基調講演の感動もさめやまぬ間に、ふるさとの四季・世界歌めぐりと題した特別コンサートが始まり日本の音楽界を代表するソリストによる素晴らしいハーモニーに会場全体が溢れんばかりの幸福感に包まれ、ロータリアンの皆様の心が癒されて行く様子がありありと感じられました。

IMも後半に入り、諸事お知らせ・休憩を挟んで来道中のGSE、RI第2360地区スウェーデンチームの紹介となり、沼舘GSE委員長が挨拶を行い、石丸修太郎GSE副委員長がGSEメンバーの紹介、続いてスウェーデンチームの自己紹介を頂き、ひと時ではありますが、ロータリアン同士の心のふれ合い、思いが通じた様に思われます。

岩城秀晴PGから講評を頂き、閉会の言葉、点鐘を荒紀男第4グループガバナー補佐が行い、「ひびきあう大地」をテーマにした、第4・第5グループ合同IMをつつがなく見事に幕を閉じることが出来ました。尚、予め用意しておりました、そらぶちキッズキャンプの募金箱を設置させていただき、ロータリアンの皆様をお願いしたところ、5万7千4百円が集まりました。ご協力頂いた皆様には厚くお礼申し上げます。

閉会后、親睦会が開催され、中田輝夫IMコ・ホスト札幌RC会長の開会の挨拶で始まり、特別ゲストの山形酒田市RCの会員であり、声楽家の池田美保氏のミニコンサートで音楽の世界に溶け込み、優雅で素晴らしい歌唱で華やいたひと時を皆様と共有出来、親睦交流が自然と皆様の心の中に浸透して行くのが随所で見られ私も心が清らかになった様な気が致しました。そして「手に手つないで」を玉井清ソングリーダーと歌うころには会場は素晴らしい一体感に包まれました。

閉会の挨拶を宮村素子IM幹事(札幌清田RC幹事)が行い、親睦会も和やかな雰囲気の中で終えることが出来ました。

第4・第5グループ合同IM・親睦会共に来賓の皆様及び会員各位のお力のお陰をもちまして、大変有意義な1日を過ごさせて頂きました。御礼を申し上げご報告とさせていただきます。



ロータリー財団補助金プログラム事業

『料理に使った油で車を走らせる！』

余市ロータリークラブ

会 長 川 向 基 紀
 新世代委員長 杉 本 彰
 職業奉仕委員長 清 水 義 信

<主 旨>

第2510地区の基本方針である「環境・人・子どもに目を向けよう」を視野にいれ、町内の小学生、保護者、先生方を対象に「環境保全」に対する認識を深めていただき、理解を促したいとの考えで事業を展開した。

<日 時>

平成22年4月29日(木) 8:20~14:00

<場 所>

栄町 ハートバス車庫(集合・解散場所)
 桃内 北しりべし広域クリーンセンター(ごみ焼却施設・リサイクルプラザ)

<テ ー マ>

『地球にやさしい探検隊』

<事業内容>

ハートバス車庫に集合、開会式後BDF(バイオディーゼル燃料)の実演見学と専門員の話聞く(写真1)。出来上がったBDFをバスに給油し、そのバスで北しりべし広域クリーンセンターまで乗車し(写真2)、ゴミ処理場を見学、説明員の話聞く(写真3)。現地で昼食をとり、自分達で弁当箱、ペットボトル等の分別を実践する。バス車庫に戻り閉会式を行い、エコに因んだ記念品を配布(写真4)。余市教育委員会と道新余市支局の協賛を頂き、町内5小学校から60名以上の参加は「環境保全」に対する認識を深めたものと思います。5月末までに参加者からの感想文の提出をお願いしておりますので、今後の事業展開の参考にしたいと考えています。なお、4月30日に北海道新聞に事業内容が掲載されました。





クラブ事業紹介

「地域を育み大陸をつなぐ」 長沼国際交流フェスティバル

長沼ロータリークラブ

会 長 望 月 良 典
S A A 中 舘 誠 治

5月15日長沼RC主催による第18回国際交流フェスティバルが行われました。ロータリー関連の留学生を初め、町内でALTを務めているクリス、そして本年、私たちの町で過ごしている交換留学生のサムを含め計30名、10カ国からの参加です。午前中の科学フェスティバルに続いての交流フェスティバルに町内の小学生が参加しました。恒例となっているパスポート、そして交流の印としてのTシャツサイン交換、チキンダンスや抽選会など3時間程の国際色豊かなお祭りです。

毎年協力を戴いている長沼高等学校生から「小学生の時に参加しました」という声が聞こえるのは、18年間という積み重ねの大きさを実感するところでもあります。「子供達に世界を知ってもらいたい」。この気持ちで始まったこのお祭りは、まさに私たちの「未来」を育む事業であると言えます。御多忙にもかかわらずこのフェスティバルに御訪問戴きました渡邊ガバナー、留学生を送迎いただいたホストファミリーの方々、そしてこのフェスティバルを応援いただいている多くの皆様に感謝いたします。18年前、長沼RCの創立時より続くこのフェスティバルは、地域から世界を見つめるきっかけであり、そして「地域を育み大陸をつなぐ」活動であることを確信しています。



ローターアクトクラブ活動報告

「フードパーティを終えて」

札幌幌南ローターアクトクラブ

クラブ奉仕・専門知識開発委員会委員長 **奥村昌代**

Masayo Okumura

2010年4月10日(土)エルプラザにて、フードパーティを開催いたしました。

当日ご参加いただきましたロータリアンの方々、誠にありがとうございました。

このフードパーティは、本年度の海外研修(タイ)、全国研修会(名古屋)の報告を行い、料理を通してタイ・名古屋の文化に触れると共に、調理作業を通してロータリアン・ゲストとの親睦。ゲストにローターアクトの活動を知っていただき会員増強につなげる事を目的としています。今年はローターアクト10名、ロータリアン6名、ゲスト9名の合計25名で、タイのグリーンカレーと生春巻き、名古屋名物どて煮、シャチホコをイメージしたケーキを作りました。準備段階で一番悩ませたメニューがグリーンカレーでした。試食会では、辛さだけは本場でココナツの風味がない、いまひとつ、でした。少しでも本場の味を再現する為、タイ料理店で味を研究、試作を重ねオリジナルレシピを完成させました。参加者の中にもこのカレーを食べた事がない方が多い様でしたが「おいしい」と好評をいただき、おかわり希望もあった程です。その他のメニューも、おいしく出来上がり、すべて完食。試行錯誤を重ねただけに、「おいしかった」の言葉を頂いた時は本当に嬉しく、達成感が得られました。

報告会では現地での交流会の様子やそこで抱える問題や文化を写真や文章を大きな模造紙にまとめ発表を行い、分かりやすく伝える事が出来たと思います。今回、タイの現状を知り、その上で自分に何が出来るかを考える機会になりました。参加していただいたゲストの方々にも同じように思っていたら嬉しく思います。

今回の目的の一つ、会員増強という点では、ゲストとして参加して下さった方が興味を持っていただき、例会にも参加していただいております。現時点では増強とは言えませんが良い方向につなげていきたいと考えております。今後も一般の方へ向けたPRを行っていき、ローターアクトの活動内容や、楽しさ、素晴らしさを伝え増強につなげる機会を設けていきたいと思っております。

私自身、昨年9月に入会し、クラブ奉仕・専門知識開発委員会委員長を任せ初初めてのイベント開催。右も左もよくわからない状態で、正直不安もありましたが、周りのメンバーの協力で無事成功することが出来ました。それによりアクトメンバーとの深い友情と信頼関係が結べた事、またこれまで余り話す機会がなかったロータリアンの方々との交流ができた事を大変うれしく感じています。今後も、さまざまな企画を行っていきたくて考えておりますので、ローターアクトクラブに対するご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。





米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

岩見沢 R C	鎌田 誠 会員(4回)	4月30日	札幌清田 R C	玉井 清 会員(1回)	4月 7日
	北澤 治雄 会員(3回)	4月30日	函館五稜郭 R C	川畑 武裕 会員(3回)	4月 9日
	松村 亮哉 会員(1回)	4月30日		酒井 正人 会員(12回)	4月23日
札幌清田 R C	三戸 和昭 会員(3回)	4月 7日	函館東 R C	渡辺 友子 会員(6回)	4月27日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

江別 R C	安孫子建雄 会員(3回)	4月16日
札幌幌南 R C	羽部 大仁 会員(5回)	4月30日
小樽南 R C	野村 定弘 会員(1回)	4月23日
	清水 人司 会員(1回)	4月23日
	斎藤 仁 会員(1回)	4月23日
	西 信博 会員(2回)	4月23日
	斎田 義孝 会員(3回)	4月23日
	大橋 一弘 会員(2回)	4月23日
	廣部 隆夫 会員(2回)	4月23日
函館 R C	竹田 公一 会員(2回)	4月 2日
函館五稜郭 R C	光銭 裕二 会員(7回)	4月16日
函館東 R C	渡辺 友子 会員(1回)	4月23日

■ポール・ハリス・フェロー

札幌清田 R C	小仲美智子 会員	4月23日
札幌セントラル R C	小坂 祥司 会員	4月16日
小樽南 R C	山村 弘一 会員	4月23日
	松浦 光紀 会員	4月23日
函館亀田 R C	相沢 好夫 会員	4月30日
函館五稜郭 R C	松井 宏昭 会員	3月26日
	高島 優二 会員	3月26日
	當摩 浩平 会員	4月 9日
	土家 康宏 会員	4月 9日
函館北 R C	阿部 誠太 会員	4月23日

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。



赤塚 繁夫 名誉会員 (長万部RC)
平成22年 3月19日逝去(享年90歳)

ロータリー歴
1968年 2月13日 入会
1974~75年度 会長
1983~84年度 第7分区
分区代理

表彰関係
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



河端 利男 会員 (由仁RC)
平成22年 3月28日逝去(享年73歳)

ロータリー歴
1992年 9月10日 入会
(チャーターメンバー)
1993~94年度 会長
2001~02年度 会長

表彰関係
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者



野村 昌人 会員 (江別RC)
平成22年 5月 2日逝去(享年57歳)

ロータリー歴
1996年 3月21日 入会
2004~05年度 幹事
2009~10年度 国際奉仕委員長
ロータリー財団委員長
米山記念奨学委員長
米山カウンセラー

表彰関係
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

新入会員の紹介 (敬称略)



たかはし りか
高橋 理佳(留萌RC)
★入 会/H21.7.1
★職業分類/事務機器小売



ふくし さちこ
福士 幸子(留萌RC)
★入 会/H22.1.6
★職業分類/税理士



つぼめ みゆき
燕 美雪(留萌RC)
★入 会/H22.1.6
★職業分類/葬祭



せきの さとし
関野 諭(小平RC)
★入 会/H22.4.1
★職業分類/金融



いしくりしんいちろう
石栗新一郎(長万部RC)
★入 会/H22.4.1
★職業分類/銀行



ながはら せいこ
永原 勢子(小樽南RC)
★入 会/H22.4.2
★職業分類/サービス業メディア関連



てらい しょうどう
寺井 紹道(札幌真駒内RC)
★入 会/H22.4.7
★職業分類/仏教



あきやま ゆうゆう
秋山 有洋(恵庭RC)
★入 会/H22.4.7
★職業分類/仏教



いしかわ としのり
石川 俊則(恵庭RC)
★入 会/H22.4.7
★職業分類/機械販売



こもり としあき
小森 俊明(千歳RC)
★入 会/H22.4.22
★職業分類/醸造酒精飲料



はせがわ てつや
長谷川哲哉(留萌RC)
★入 会/H22.4.22
★職業分類/信用金庫



ほそかわ こうじ
細川 浩司(苫小牧RC)
★入 会/H22.4.23
★職業分類/通信機器販売



きくち まさたか
菊池 雅孝(岩見沢RC)
★入 会/H22.5.6
★職業分類/生命保険



はなわ よしたか
花和 嘉貴(小樽RC)
★入 会/H22.5.11
★職業分類/電気工事



はまだ けんじ
浜田 健嗣(小樽RC)
★入 会/H22.5.11
★職業分類/写真



さとう まさし
佐藤 正嗣(小樽RC)
★入 会/H22.5.11
★職業分類/通信機器配布

最近のロータリー情報から

文庫 通信

(272号)

書名	著者/地区	発行年	ページ
◆「ロータリー財団未来の夢計画」	田中作次(第38回ロータリー研究会報告書)	2010	3P ※
◆「R15カ年財政計画」	黒田正宏(第38回ロータリー研究会報告書)	2010	4P ※
◆「よきロータリアン 指導者としてのロータリアン」	渡辺好政(D.2710月信)	2010	14P ※
◆「今 ロータリーが忘れていた事」	森 三郎(関西ロータリー研究会第55回例会記録)	1999	16P ※
◆「ロータリーの魅力と職業奉仕について」	成川守彦(D.2770職業奉仕研修会)	2010	43P ※
◆「私にとってのロータリーの楽しみ方(パネルディスカッション)」	岩本 忠(コーディネーター・D.2630地区大会)	2009	10P ※
◆「ロータリー-簡単図解(年表とロータリーの考えの変遷その1~3)」	鈴木章夫(D.2520月信)	2009	3P ※
◆「各クラブが行っている活性化アイデア一覧」	(D.2720月信)	2010	4P ※

※ デジタル化した資料

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 開館/午前10時~午後5時 休館/土・日・祝祭日

2010年6月のロータリーレート 1ドル92円



地区カレンダー(6月)

6月 ロータリー親睦活動月間			
1(火)	ロータリー・コーディネーター説明会(東京)	16(水)	
2(水)	(財)ロータリー米山記念奨学会評議員会(東京)	17(木)	
3(木)		18(金)	
4(金)		19(土)	インターアクト地区年次大会(室蘭)(~6/20)
5(土)	恵庭RC創立40周年記念式典(恵庭) 伊達RC創立50周年記念式典(伊達)	20(日)	国際大会(カナダ・モントリオール)(~6/23)
		21(月)	
6(日)	新旧ガバナー補佐・地区委員長合同引継会議(滝川)	22(火)	
7(月)		23(水)	
8(火)		24(木)	札幌手稲RC創立40周年記念式典(札幌)
9(水)	地区補助金委員会(札幌)	25(金)	
10(木)		26(土)	ローターアクト地区年次大会(札幌)
11(金)		27(日)	
12(土)	米山学友主催家族懇親会(余市) 栗山RC創立40周年記念式典(栗山)	28(月)	
		29(火)	
13(日)		30(水)	2009-2010年度終了
14(月)		※ガバナー事務所は6月30日の年度終了後、 引き続き残務整理のため9月30日まで業務を行います。	
15(火)			

例会日・例会時間・例会場の変更等について

砂川 R C	6月23日(水) 夜間例会 18:30~ 場所: 砂川パークホテル 6月30日(水) 休会
滝川 R C	6月10日(木) 「一年を省みて」夜間例会 18:00~ 場所: 滝川ホテル三浦華園 6月17日(木) 休会 6月24日(木) 休会
江別 R C	6月 3日(木)、6月10日(木) 移動例会 12:30~ 場所: 勤労者研修センター(江別市緑町西1丁目103) 6月24日(木) 最終移動夜間例会 18:30~ 場所: 野幌セレモニーホールはやし(江別市野幌町54-5)
岩見沢東 R C	6月15日(火) 通常夜間例会を12:30点鐘に変更 6月29日(火) さよなら夜間例会18:00点鐘 場所: 岩見沢平安閣
千歳セントラル R C	6月 1日(火) の例会を5月29日(土) 第7グループ I Mに振替 6月 8日(火) 移動例会 場所: 清水農園(千歳市清流5丁目)
室蘭東 R C	6月30日(水) 最終夜間例会 18:30~ 場所: 蓬峽殿
室蘭北 R C	6月29日(火) 夜間例会 18:30~ 場所: ホテルサンルート室蘭
白老 R C	6月 1日(火) 移動家族例会「桜の苗木植樹」 12:00~ 場所: 岩崎(白老町社台) 6月29日(火) 移動夜間例会「会長・幹事慰労会」 18:30~ 場所: 蛇の目寿司(白老町社台)
苫小牧 R C	6月25日(金) 年度最終夜間例会 18:00~ 場所: グランドホテルニュー王子

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	10.04.30	増減	内女性	
1	深川	4	32	32	0	1	91.55
	羽幌	4	45	46	1	1	84.57
	妹背牛	4	9	9	0	0	88.89
	小平	4	11	11	0	0	84.10
	留萌	4	41	44	3	3	84.36
	小計		138	142	4	5	86.69
2	赤平	4	29	31	2	0	77.55
	芦別	4	37	38	1	0	78.48
	砂川	4	55	53	-2	0	97.14
	滝川	4	96	95	-1	2	79.25
	小計		217	217	0	2	83.11
3	美唄	4	33	33	0	0	87.04
	江別	4	34	33	-1	1	89.40
	江別西	4	30	29	-1	3	85.30
	岩見沢	4	85	85	0	0	93.34
	岩見沢東	3	33	34	1	4	76.27
	栗沢	4	24	23	-1	1	96.40
	栗山	4	27	27	0	3	96.91
	当別	4	31	30	-1	0	90.64
	小計		297	294	-3	12	89.41
4	札幌幌	4	102	119	17	0	98.37
	札幌あけぼの	4	13	14	1	1	93.30
	札幌はまなす	3	19	19	0	4	87.72
	札幌北	3	43	41	-2	6	95.83
	札幌モーニング	4	51	51	0	0	70.36
	札幌西	4	58	58	0	5	94.16
	札幌西北	3	40	39	-1	6	93.47
	札幌手稲	4	33	36	3	2	94.45
	小計		359	377	18	24	90.96
5	札幌東	4	118	117	-1	0	99.31
	札幌清田	4	18	18	0	4	100.00
	札幌幌南	4	61	62	1	0	100.00
	札幌真駒内	3	31	29	-2	3	98.77
	札幌南	4	80	77	-3	0	97.73
	札幌大通公園	4	12	11	-1	2	84.10
	札幌セントラル	4	10	10	0	6	77.50
	新札幌	3	28	27	-1	3	93.94
	小計		358	351	-7	18	93.92
6	岩内	4	19	19	0	0	85.01
	倶知安	4	40	38	-2	4	73.00
	小樽	3	65	70	5	0	84.66
	小樽南	4	76	74	-2	2	90.80
	小樽銭函	4	22	23	1	2	72.00
	蘭越	4	9	9	0	0	97.22
	余市	4	41	41	0	3	83.00
	小計		272	274	2	11	83.67

4月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,700人
当月末会員数(女性)	2,753人(109人)
増加会員数	53人
当月平均出席率	86.26%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	10.04.30	増減	内女性	
7	千歳	4	57	58	1	3	81.40
	千歳セントラル	4	37	38	1	2	78.30
	恵庭	4	35	44	9	2	84.38
	北広島	4	16	14	-2	0	91.11
	長沼	4	20	20	0	3	82.50
	由仁	4	11	9	-2	1	88.89
	小計		176	183	7	11	84.43
8	えりも	4	21	22	1	0	94.31
	三石	4	15	15	0	1	88.30
	様似	4	22	23	1	1	82.60
	静内	4	70	76	6	1	84.33
	浦河	4	36	35	-1	2	100.00
	小計		164	171	7	5	89.91
9	伊達	4	55	58	3	0	79.31
	室蘭	4	41	46	5	0	81.25
	室蘭東	4	36	40	4	0	73.75
	室蘭北	4	35	38	3	3	100.00
	登別	4	31	31	0	1	83.87
	洞爺湖	4	7	7	0	0	91.00
	小計		205	220	15	4	84.86
10	函館	4	83	89	6	0	79.75
	函館亀田	4	42	38	-4	2	91.89
	森	4	34	40	6	0	68.00
	七飯	4	17	16	-1	0	72.10
	長万部	4	9	8	-1	0	84.37
	函館セントラル	4	31	32	1	2	67.61
小計		216	223	7	4	77.29	
11	江差	4	18	14	-4	1	64.00
	函館五稜郭	4	55	56	1	0	100.00
	函館東	4	43	45	2	4	82.08
	函館北	4	28	26	-2	0	94.23
	北斗	4	17	17	0	1	70.50
	松前	3	5	3	-2	0	66.00
小計		166	161	-5	6	79.47	
12	白老	3	28	30	2	1	82.60
	苫小牧	4	48	55	7	2	78.94
	苫小牧東	4	27	26	-1	2	84.61
	苫小牧北	4	29	29	0	2	99.14
	小計		132	140	8	7	86.32
合計		2,700	2,753	53	109	86.26	



ロータリーの未来は
あなたの手に

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009-2010

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

国際ロータリー第 2510 地区
2009-2010 年度 ガバナー



2009-2010 Governor
Yasuhisa Watanabe

渡 邊 恭 久

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F
TEL 011-207-2510 FAX 011-207-2512 E-mail : rid2510@rotary.gr.jp
<http://www.ri2510.gr.jp/>